

# 第13回 会員情報交換会（三日会）

2015年9月16日(水)／川崎商工会議所

第13回は、当協会の副会長でJFEスチール株式会社常務執行役員東日本製鉄所京浜地区所長の日下修一氏並びに同社理事/建材センタープロジェクト営業部長の丸山隆氏、同部副工場長主任部員/副部長の野原和也氏より「神奈川県地域強靱化に資するご提案～JFEグループの防災対策技術」というテーマでお話をいただいた。

過去最高の150名超の皆様にご参加いただき、会場の会議室は満席となった。

小俣会長の乾杯発声で始まった交流会の部は、こちらも会場から溢れんばかりの中、参加者間で名刺交換・情報交換を行った。神奈川県、川崎市からもご参加をいただいた会は、協会副会長でナイス株式会社の大野取締役常務執行役員のご挨拶で中締めとなった。

## 【JFEグループの防災対策技術】

■神奈川県で発生が想定される大きな地震には都心南部直下地震、南海トラフ巨大地震、相模トラフ沿いの大地震、東海地震など複数が考えられる。

■こうした地震への備えとして、津波リスク並びに液状化リスクへの対応という視点から、ご提案と合わせて防災技術の紹介をさせていただく。

■港湾エリアでは、①護岸強靱化、②栈橋リニューアル化、③津波対策、④地盤強靱化の点から、

「がんばり工法」「ジャケット置換工法」「ハイブリッド防潮堤」「津波バリアー」などがある。

■工場/商業/居住エリアでは、⑤建屋被害軽減、⑥工期短縮、⑦設備隣接工事、⑧建屋増設、⑨コンクリート劣化修復の点から、「制振ダンパー」「メタルビル」「つばさ杭」「避難タワー併設立体駐車場」などがある。

■非常対応の分野では、⑩非常対応、⑪環境、⑫耐震診断の点から、「耐震性緊急貯水槽（\*MM21で実績あり）」「Jポケットパイル」などがある。

■丘陵地エリアでは、⑬斜面崩壊対策、⑭土石流対策の点から、「地滑り抑止杭」「土石流フェンス」などがある。

■ご相談いただき、ベストな対策をご提案したい。

